

平成24年9月25日
独立行政法人 防災科学技術研究所

国際的な地震ハザード評価・リスク評価手法開発の本格化 －防災科研が国際 NPO 法人の活動に参画－

独立行政法人防災科学技術研究所(以下、防災科研)は、国際的な地震ハザード評価、リスク評価手法の開発や情報提供を行う Global Earthquake Model Foundation(GEM 財団、以下 GEM)の運営委員会メンバーとして参画した。GEM は、OECD の活動を受けて 2009 年に発足したもので、現在米国地質調査所などが参加している国際的な地震ハザード評価、リスク評価手法を開発し標準化を推し進めている国際組織である。

防災科研は、我が国の地震ハザード評価手法などの開発および情報提供等を政府に対し行っており、GEM がその開発技術を高く評価し、運営委員会メンバーとしての参加を要請してきたものである。

1. 内容:別紙資料による。
2. 本件配布先:文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

<内容に関するお問い合わせ>

独立行政法人 防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
アウトリーチ・国際研究推進センター
橋本 俊幸
電 話 : 029-863-7899
thashimo@bosai.go.jp
災害リスク研究ユニット長
藤原 広行
電 話 : 029-863-7657
fujiiwara@bosai.go.jp

(連絡先)

独立行政法人 防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
アウトリーチ・国際研究推進センター
アウトリーチグループ
大石 恵章
電 話 : 029-863-7783
F A X : 029-851-1622

国際的な地震ハザード評価・リスク評価手法開発の本格化 －防災科研が国際 NPO 法人の活動に参画－

1. GEM の概要

Global Earthquake Model Foundation(以下 GEM という)は、米国地質調査所を代表とする公的機関、大学、保険業界等からの出資をもとに、運営されている NPO であり、国際的な地震ハザード評価、リスク評価手法の開発及び標準化や情報提供を行う機関である(本部:イタリア、<http://www.globalquakemodel.org/>)

GEM は、OECD のグローバルサイエンスフォーラムをもとに 2009 年に発足し、その後参画する機関は年々増加し、2011 年度末現在では米国、欧州、アジア、南米等 14 カ国の公的機関及び 8 民間機関が運営機関として参画する他、協力関係機関として数十ヶ国の機関・組織が官学民間問わず参加するまでに拡大している。

特に、地震研究の先進国である米国公的研究機関が参加するなど、GEM の国際組織として研究開発力が向上し、地震ハザード評価、リスク評価に係る国際発信力や、情報収集力も高まってきている。

2. 今後の GEM に関連する防災科研の活動と期待される成果

防災科研は、主に国内において地震調査研究推進本部が行う地震動予測地図の作成に関して地震ハザード評価手法の開発やデータ提供等を行ってきた。GEM はその開発技術を認め、運営委員会メンバーとしての防災科研の参加を直接要請していた。

防災科研は GEM が進める国際的な地震ハザード評価、リスク評価手法の開発とその標準化に直接寄与し、国際化を図ることとしている。これにより防災科研がこれまで取り組んできた地震ハザード評価手法を国際化することが可能となる。また併せて、国際標準となった手法を用いて世界の地震ハザード、リスク評価することができるようになる。

これらの取り組みにより、

- ・ 防災科研の地震ハザード・リスク研究レベルが向上し、防災科研のハザード評価手法の利活用に向けた国際的な情報発信力が強化
- ・ 防災科研の国際化されたハザード評価、リスク評価技術を、海外の地震災害多発国に対して用適用することにより、地震防災に係る日本の影響力が拡大の効果が期待される。